

二、後付帳より年当の恒率但長二十五円位長十五  
円を支給して作り作る今回三限の組長十五円位長  
十日の減額しては如何の理由かヤ説明アリタシ  
トト要求ニ付シ

會社側より後付年當ハ既ニ改正レタル事ハハカ  
ニ然ラバ其不文ヲ圖覽致度ト申出タルニ會社ハ之  
ヲ承認スル之ヲ示レルニ思ホテ解ス

三、豫告ナシニ解雇シタル場合ニ二週同命ノ日給ヲ  
給付スベキトハ民法上明瞭ナレトモモ、当然ノ権  
利トシテ之ヲ要求スルニ付支給セラレ度若シ承認  
セザルトヤハ許諾ヲ提起スレト迫リシテ

會社側ハ豫告期間ニ付セル年當五円ニ付テハ會社

より相當ノ解雇年當ヲ支給シタルニ付何等考  
フル余地ヲ存セザル又會社が事業縮少ノ旨ナキ限  
状ニシテ際諸君ニ同情シ特ニ十五日分ノ特別年當  
ヲ支給スルトモテ承認セラレ度ト回答スルニ會社ハ  
対シ交渉ノ余地ナキモ各年度ニ付テ相當ノ運動ヲ  
試ムルニ云々ノ言辭ヲ、淺し前日ノ要求事項即チ  
解雇年當ノ増額等ニ付何等言及セズ引揚ケ  
タリ

山口守衛ト會見スルニ委員等ハ此等ニ組合事務所ニ引  
揚ケ合日午後松野拘及打合セテトト上京スル井上平  
光外ニ名ノ帰渡ヲ待合ケ組合幹部等自合秘密守テ